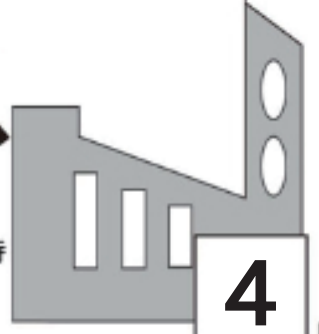


# カトリック 大名町教会ニュース

DAIMYOMACHI CATHOLIC CHURCH NEWSLETTER



[ミサ時間] 主日ミサ:(土)19時 / (日) 7時・9時30分 / 英語ミサ(日)16時

[ホームページ] <http://church.jp/catholic-daimyoumachi/>

〒810-0041 福岡市中央区大名2-7-7 [巡] 能古島カトリック教会 ミサ(土)18時

Tel:092-741-3687 Fax:741-5107

〒819-0012 西区能古弁当 1621-12

発行責任者:杉原寛信神父

4

2021年3月19日

『愛のよろこび』家庭年

2022年6月22日

福岡教区年間テーマ:信じる喜びから 伝える喜びへ

大名町教会年間テーマ:全ての人に対してキリストの光でありなさい!  
Be the light of Christ to everyone.

### お知らせ

- 4月11日(日):  
・カテドラル献金日
- 4月13日(火):  
・カテドラル大名町教会司教座聖堂献堂記念日
- 4月18日(日):  
・教会学校スタッフ会議
- 4月20日(火):  
・召命を共に祈る会 13時半
- 4月25日(日):  
・世界召命祈願の日

◎司祭叙階 おめでとようございます。  
マルチェロ・アパメア 鄭元喆 神父様  
・司祭叙階記念みことば  
『わたしがここにおります。わたしを遣わしてください。』(イザヤ6:8)



按手と叙階の祈り  
안수와 서품 기도

3月20日(土)、マルチェロ・アパメア・ジョン・ウオンチョル助祭の司祭叙階式が、アパメイヤ司教様主式のもと、多くの教区内司祭が参加して行われ、WEB配信されました。

### 勉強会

ジョン・ウオンチョル神父

- ・入門講座(4月15日から毎木曜日) 10時 / 19時
- ・聖書分ち合い 14時

『愛のよろこび』家庭年 (2021年3月19日~2022年6月22日)

それぞれの家庭が、自分たちの家にナザレの聖家族が生き生きと息づいていると実感できるように祈ります。聖家族がわたしたちの小さな家庭共同体を、誠実で大きな愛で満たしてくださいませうに。その愛は、試練や苦境における喜びの源なのです。(教皇フランシスコのことば)

ゆるしの秘蹟: 4月17日(土)、24日(土): 10時~11時45分

### 咲き始める美しさ

シエイクスピアの『ヘンリー6世』にあるセリフ。

「どんな強力な君主といえども、死ななければなりません。」

人間は必ず死ななければならない。確かに。しかし、そして必ず生きなければならないはずは必ずです。

毎年、復活祭を迎えると、このことを考えさせられる。死ぬことだけで終わるなら、自分も他者も滅茶苦茶に壊したくなる、時にそんな考えが頭をよぎる。しかし、生きなければと思うと、自分も他者も大切にしないではおれない。けれど、大切に仕方が難しい。

復活の水曜日、礼拝会修道院でミサを捧げた。庭に咲き、階段に置かれているかわいらしい美しい花が出迎えてくれた。「色取り取りに咲く花が迎えてくれる。」

反射的に思った。復活祭からの毎日の福音の場面。それは、弟子たちの心にイエスの復活が咲き始めた場面だ。ペトロ、ヨハネ、エマオの弟子たち、マグダラのマリア。この人たちの心に復活されたイエスが、美しく豊かに咲き始めた。

「私たちの心は燃えていたではないか」 私たちの心にも、イエスの復活が咲き始め、花開く。その人その人の色づきをもつて。

イエスの死と復活。美しく耀くもの。

カトリック大名町教会

主任司祭 ペトロ 杉原 寛信



# 復活祭 4月4日



復活祭に初ミサを捧げるジョン新司祭

初めまして！ご復活おめでとございます。

初めてではない方もいらつしやると思いますが、改めて挨拶させていただきます。はじめまして、先日、3月20日(土)に皆様のお祈りとお支えのおかげで叙階の恵みを受け、3月29日(月)に、ここ大名町教会に助任司祭として着任いたしました。マルチェロ・アパメア ジョン ウォンチヨル神父と申します。3年半前、ちょうど日本に来て6ヶ月ぐらいになる時、この大名町教会に2週間ぐらいお世話になりました。その時の私を覚えてくださって

いる方もいらつしやると思います。その時、暖かく迎え入れて下さる皆さんを見て、日本で宣教することの喜びを感じました。

そのような思いに至った「大名町教会」から、私の日本での宣教司牧が始まります。

まだ、日本生活4年目で叙階の恵みを受けて1年もたつてない、日本語もまだイマイチであるヒヨコ神父ですが、共同体の皆様と楽しく神に賛美を捧げたいと思います。どうぞ、よろしく願います。

大名町教会 助任司祭  
マルチェロ・アパメア  
ジョン ウォンチヨル 神父

## ようこそ



ようこそ、大名町教会へいらつしやいました。ピカピカの神父様、透き通る声が見言葉を通してどこまでも響き渡ります。言葉も文化も歴史も異なる国より、ここ日本、福岡教区、大名町教会に宣教として派遣されました。経験は学問に勝るといわれます。私たち共同体の中でもピカピカの新小学校一年生、新社会人、それぞれ知らない世界へ緊張と不安、そして希望に胸を膨らませていきます。ジョン神父様の叙階のみ言葉、「わたしがここにおります。わたしを遣わしてください」私たち信徒一人一人も新たな気持ちで新しい年度を歩みたいと思います。

信徒会長  
F・ザビエル 濱崎 公夫

## 復活祭に、初ミサ



私たちが信じる復活の信仰、私たちはこうやって立派な信仰

## 喜びのうちに



4月4日(日)の復活祭に、ジョン・ウォンチヨル新神父様の初ミサが行われました。はっきりとしたお声で一つ一つ丁寧にミサを捧げる姿はイエス様の復活を祝う私たちの喜びをさらに高めました。

ホミリアでは「キリストの死と復活は、死を克服し、神や他者、自然と私たち人間の間にある隙間を埋め、関係を回復する道である」とこと、そしてその「復活の信仰を持つ者として生きるにはどうすれば良いのか」を分かりやすく話され、心に力強く響くものでした。

叙階記念に選んだ聖句、「わたしはここにおります。わたしを遣わしてください」をなぜ選んだのか、再度語られた挨拶に、神様やご両親へ

を持つています。だから、私たちは復活の信仰を持つ者として、生きなければなりません。では、具体的にどうすれば良いでしょうか。旧約の民は神様との契約を結び、自分たちの守るべき掟として十戒を受けました。同じくイエス様はこの新しい契約を私たちが守る掟を教えてくださいます。それが、すなわち、愛の掟、「互いに愛し合いなさい」という、イエス様の言葉です。私たちは主が与えてくださった愛の掟を守りながら、この復活の信仰を守り続けることができるよう、神様の導きを願い求めましょう。(ジョン神父様、初ミサのホミリア要約)

の感謝があふれていて聞いているものを温かい気持ちにさせました。杉原神父様は「ジョン神父様はご両親からいただいた信仰の喜びをとっても嬉しそうに話されます。この喜びを私たちにも分かち合っていたいただきたいです。」とコメントされました。そのお話を聞かせていただけると、そして、これからジョン神父様と共に信仰と宣教の喜びを育めることが楽しみです。

コロナ禍ではありますがこれから活動に期待が膨らみます。

青年会  
ミカエラ 荒牧 結花

信徒の声  
力強く分かりやすい、心に残るお説教でした。





十字架の崇敬

聖金曜日 主の受難の祭儀 4月2日

通主が受難と死を  
 移らされた「主の過  
 越」を、年に一度、  
 最も盛大に3日間  
 かけて記念し「祝  
 かつて過越の3日間  
 なる「主の晩さん」  
 「主の晩さん」の夕  
 のミサで主が私  
 たちを愛し尽くさ  
 れたことをしるし  
 である「聖金曜日」  
 受難の祭儀「主の  
 受難と死を思ひ  
 の受難と死を思ひ  
 起すこと、十字架  
 勝利の美し、復活  
 土曜日の夜、「復活

過越の聖なる3日間



復活の主日・復活の聖なる徹夜祭 4月3日



光の祭儀

徹夜祭「闇にキリスト  
 の光が輝いて死が打ち負  
 かされたことを確信し、  
 洗礼によって新しいのちに  
 あずかり、神の子として生  
 きる決意を新たにします。



聖木曜日 主の晩さんの夕べのミサ 4月1日



聖香油ミサ

3月31日(水)15時、福岡教区内の司祭がアベ  
 イヤ司教様を中心に集まり聖香油のミサが捧げられ  
 た。赤・青・白、3色の布に包まれた香油が運ばれ、  
 アベイヤ司教様によって聖別された。また、司祭団  
 と司教の一致を新たに祈りが捧げられた。  
 赤は、洗礼志願者のため。青は、病者の回復のため。  
 白は、司祭叙階や堅信を受ける人のために用いられ  
 る。

大名町教会青年会に  
参加してみませんか？

こんにちは！大名町青年会です！  
 青年会では教会への奉仕活動について話  
 したり、食事会など(今はコロナで難しい  
 ですが泣)のイベントを行ってみんな  
 楽しく活動しています。

また、大名町小教区だけでなく福岡教区  
 や全国の青年と交流する場もあります。  
 アベイヤ司教様も青年には関心を寄せて  
 くださっています。より青年たちが楽しく  
 信仰生活を送れるように、色々考えている  
 最中です。

新年度、新しいことに一緒にチャレンジ  
 してみませんか？

新大学生、新社会人、福岡へようこそ！  
 の人、大歓迎です。もちろんそうでない人  
 も！

近日活動情報公開予定です！  
 お待ちしています！

会長 林田明日香(記 荒牧結花)



# 2月の宣教司牧評議会

## 検討事項

- 1 聖週間について
- ① 枝の主日、感染予防のため、枝は事前に席に置く。
- ② 聖金曜日、十字架の道行き、15時より大聖堂にて実施。
- 2 教会内備品の整理について
- ① 教会内に保管されている様々な物品整理のための調査を、4月11日の評議会終了後に実施。
- ② その後、一覧表を作成し保管する。
- 3 司祭の異動について
- ① 船津亮太神父様は、3月27日小倉教会に異動。
- ② ジョン神父様が、3月29日に大名町教会助任として着任。4月4日の復活の主日に初ミサを捧げる。
- ③ 3月21日、9時のミサ後、船津神父様お別れ会実施。教会学校から花束と挨拶、共同体よりお礼贈呈。
- 4 訃報の周知について
- ① 現在、ご家族の意向により信徒への訃報のお知らせを実施。
- ② 家族の意向に関わらず信徒へ周知することが信徒への務めではないかの意見あり。
- ③ この件については信徒総会にて審議する。
- ④ 訃報についての連絡方法は、現在メールとFAXにて実施。LINEの検討も含め、5月12日に話し合う。
- 5 年間テーマについて
- ① 現在、アベイヤ司教様の呼びかけに応じて、すべての小教区、地区宣教評議会、修道会、各種団体などから

提出されたものまとめが、6月頃で紹介され、9月頃に教区テーマとして正式発表の予定。

- ② 現在のテーマ、『すべての人にキリストの光でありなさい』を今後も継続。
- ③ みことばを用いたテーマの提案、総会にて審議。
- 6 信徒総会について
- ① 新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、6月27日(日)大聖堂にて実施予定。
- ② 信徒総会と会計報告の資料印刷を6月6日に行い、6月12日に配布する。
- 7 おにぎりの会からの依頼
- ① おにぎりの会事務局より提案、コロナ禍、おにぎりの配布数も増加傾向。
- ② 炊き出しのための、おにぎり作りの協力依頼あり。5月21日(金)の実施に向け、信徒に協力をお願いする。
- 8 その他
- ① 動画配信機材の保管について
- ② 教区の機材として3階に保管する。
- ③ 福島家族支援実行委員会ミニバザーを、4月4日(日)復活祭10時30分ミサ後に実施した。
- ④ 漏水工事について
- ① 昨年8月より漏水あり。漏水場所が厨房付近であることが判明し、3月15日工事を実施した。
- ② 今後、厨房横のスペースを駐車場として使用しないことに決定。
- ③ 大聖堂空調の入れ替え工事について
- ④ 2022年度に工事予定。信徒総会にて審議する。
- ⑤ 防災訓練について
- ① 消防点検のみを、5月9日宣教司牧

評議会後に数名の委員にて実施予定。

## 報告事項

- 1 女性の会代表の任期満了に伴う後任の選出について
- ① 今後、話し合いのもと、後任の選出を行う。
- 2 その他
- ① 典礼委員会について、準備会前に開催することとした。

## 大名町教会3月の現勢

- ・【転出】
- ・アシジのフランシスコ
- 森 礼也 (熊本手取教会)
- ・【帰天】 永遠の安息をお祈りします。
- 4月3日
- ・テレジア 安倍 ハル (102歳)

## 会長のつぶやき

♪喜びに心を弾ませ神の家に  
行こう♪

一粒の麦、地に落ちて  
死ねば多くの実を結ぶ

緊急事態宣言解除、また教会に信徒が集う。この喜びに勝ること他になし。み言葉に耳を傾け、心開き、御聖体を頂く。子どもたちにとっては親の強制であっても、それは大きくなって感じるものかもしれない喜び、きつとそうだろう。大人の人にとっては、足が痛くても、自然に向かい顔がほころぶ主への道。春、命ときめく『死と

復活』。小さな我が家の菜園に馬鈴薯の種イモを植え付けて17日。地が割れ、隆起し、美しく、初々しい芽が誕生した。毎日まいにち、いつかいつかと畑を覗く、命の誕生を心待ちにし、時を過ごす。半切にされた種イモはすべてをこの地に委ねた。『死ぬ』とは、『この実』をすべて神にささげた。そして、創造主が作られたこの大地。光と闇。水と大気。すべてはこの種イモのためにささげられ、腐葉の養分土、潤す雨、炎の太陽、みんな一つになってこの新しい命を誕生させている。収穫とは、神のみこころを忠実に働いた者の上にそそがれる豊かな恵みなのかもしれない。先日近くの山寺、真言宗慈明院に足を運んだ。いただいた2代目住職の辻説法100話集、『風のふくまに』の1節『乞食僧、良寛和尚』の漢詩が心に響く。『花、無心にして蝶を招き、蝶、無心にして花を訪れる。』そして、フランシスコ教皇のメッセージが届く。『すべてのものが他者のために生きることが自然界の法則です。私たちはみな、互いに助け合うために生まれてきました。それがどんなに難しいことであっても、あなたが幸せなら、あなたの人生は素晴らしい。しかし、あなたのおかげで他の人が幸せになるなら、もっと素晴らしい』さらには、新司祭ジョン神父様の司祭叙階の挨拶、『私には何もありません』へりくだる言葉が心打つ。『無心』、私も蝶になりたい。

大名町教会信徒会長  
フランシスコ・ザベリオ  
濱崎 公夫